

📷 ～ 1 9 4 5 ～ 📷

父親たちの星条旗

FLAGS OF OUR FATHERS

映画で学ぶ 「一枚の写真がつくる「物語」」

対象：中学生以上

名前

年 組

1 写真は「本当のこと」を写している？

写真や映像は、言葉よりも強く人の心を動かします。でも、写真は**ある一瞬を切り取ったもの**にすぎません。その前後に何があったのか、写真だけではわかりません。

📷 写真は、一瞬の「切り取り」。

🔑 1945年の一枚の写真

硫黄島の山の上で、兵士たちが星条旗を立てる写真が撮られました。写真はアメリカ中を熱狂させ、報道写真の有名な賞・ピューリッツァー賞を受賞しました。実はこの場面は、先に立てた旗を大きな旗に取りかえた時のものでした。

※特集「戦争と平和」の『硫黄島からの手紙』は、同じ戦いを日本側から描いた作品です。

2 写真を読む4つの視点

■ ① 切り取られた一瞬

写真の前と後に、何があったのか想像する。

■ ② 写っていないもの

フレームの外には、何があるのか。

■ ③ 誰が、何に使った？

写真は宣伝や「象徴」に使われることがある。

■ ④ 事実も訂正される

長く信じられた情報が、あとで変わることもある。

3 映画『父親たちの星条旗』とは

あらすじ

写真が有名になると、写っていた兵士のうち生き残った3人が「英雄」として本国に呼び戻されます。戦争のお金を集める宣伝のため、3人は全国を回り、大観衆の前で旗を立てる場面を再現させられます。しかし3人の心には、戦場に残した仲間への思いと、「本当の英雄は自分たちではない」という苦しみがありました。

あとから変わった「事実」

写真に写った人物として長く伝えられてきた兵士のうち2人について、2016年と2019年に「実は写っていなかった」とアメリカ海兵隊が認めました。映画はそれより前（2006年）につくられています。

見るときの心がまえ

戦いの場面も出てきます。国が語る「英雄物語」と、兵士たちの気持ちのちがいに注目しながら見ましょう。

4 写真を読むワーク

 映画を観て（またはあらすじから）、考えて書こう

① 一枚の写真が、なぜアメリカ中を熱狂させたのだと思う？

② 「英雄」と呼ばれた3人は、なぜ苦しんだのだろう？

③ 写っている人が、何十年もたって訂正されたことをどう思う？

④ SNSの写真や動画を見るとき、どんなことに気をつけたい？

5 ふりかえり

写真は_____であり、使われ方で「物語」がつくられると分かりました。これから写真や動画を見たときは、_____を想像したいです。

 「写真は、一瞬の『切り取り』。」

先生・保護者へ：『父親たちの星条旗』は、硫黄島の戦いによる死傷の描写を含みます。本資料は中学生以上を想定しています。年齢区分は上映前に確認してください。写真の人物特定が映画公開後に訂正されている点（2016年・2019年）も補足してください。

© 2026 FilmEdu AI / この教材はAIを活用して作成しています。内容に誤りを含む場合があります。解説文はすべてオリジナルで、ポスター・場面写真は使用していません。作品の著作権は各権利者に帰属します。授業での上映には適切な権利処理が必要になる場合があります。